

平成24年度 第2回 県政世論調査



# 目 次

## 調査のあらまし

1 調査の概要 .....	1
2 調査対象者の属性 .....	2
3 サンプルデザイン .....	3
4 この報告書のみかた .....	8

## 調査結果の分析

<b>1 交通モラルについて</b>	
(1) 愛知県の交通モラルについて .....	9
(2) 交通モラルが低い理由 .....	11
(3) 交通モラルの他の都道府県との比較 .....	13
(4) 愛知県の交通モラルのイメージ .....	15
(5) 交通モラルの高さと交通事故の関係 .....	17
(6) 交通モラルの向上について .....	19
<b>2 道路の交通安全対策について</b>	
(1) 道路を通行するときの危険性 .....	21
(2) 道路の危険箇所について .....	23
(3) 道路のカラー舗装について .....	25
(4) カラー舗装の効果 .....	27
(5) 「みちづくり」に関する取り組むべき課題 .....	29
(6) 交通安全確保に関する取り組むべき課題 .....	31
<b>3 「エコ モビリティ ライフ」(エコモビ) について</b>	
(1) 「エコモビ」の認知度 .....	33
(2) 「エコモビ」を知ったきっかけ .....	35
(3) 「あいちエコモビリティライフの日」の認知度 .....	37
(4) 「エコモビ」の実践について .....	39
(5) 「エコモビ」を普及・定着させるための有効な取組について .....	41

<b>4 高齢期に介護が必要となった場合の過ごし方について</b>	
(1) 自分が介護を受ける場所の希望	43
(2) 現実に自分が介護を受けることになると思う場所	45
(3) 自宅で介護を受けられないと思う理由	47
(4) 自宅で介護が必要となった場合に重要なこと	49
(5) 家族が介護を受ける場所の希望	51
(6) 現実に家族が介護を受けることになると思う場所	53
(7) 家族が自宅で介護を受けられないと思う理由	55
<b>5 三河湾環境再生について</b>	
(1) 三河湾のイメージ	57
(2) 三河湾の環境問題の認知度	59
(3) 川や海の環境改善の取組	61
(4) 川や海の環境を体感する参加型イベントについて	63
(5) 参加したい参加型イベント	65
(6) 三河湾環境再生のための施策	67
<b>6 環境と安全に配慮した農業について</b>	
(1) 環境と安全に配慮した農業に対する意識	69
(2) 「エコファーマー」の認知度	71
(3) 「エコファーマー」の周知方法	73
(4) 「GAP（ギャップ）手法」の認知度	75
(5) 「GAP（ギャップ）手法」の周知方法	77
(6) 「有機農業」の認知度	79
(7) 「有機農業」の購入意識	81
<b>調査票</b>	83
<b>集計表</b>	100

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

県民の生活に深い関わりを持つ県政の各分野について、県民の関心や意向、要望等を調査し、今後の県政施策推進の基礎資料とする。

### (2) 調査の項目

- ① 交通モラルについて
- ② 道路の交通安全対策について
- ③ 「エコ モビリティ ライフ」(エコモビ) について
- ④ 高齢期に介護が必要となった場合の過ごし方について
- ⑤ 三河湾環境再生について
- ⑥ 環境と安全に配慮した農業について

### (3) 調査の設計

- ① 調査地域 愛知県
- ② 調査対象 県内居住の 20 歳以上の男女
- ③ 標本数 3, 000 人
- ④ 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- ⑤ 調査方法 郵送法
- ⑥ 調査期間 平成 24 年 9 月 11 日～9 月 30 日

### (4) 調査委託先

株式会社 イープラネット

### (5) 回収結果

- ① 標本数 3, 000 人
- ② 回収数 1, 644 人 (54.8%)

## 2 調査対象者の属性

### 【性別】

総数	男性	女性	無回答
1644人	703人	935人	6人
100.0%	42.7%	56.9%	0.4%

### 【年齢】

20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	無回答
175人	273人	338人	344人	226人	282人	6人
10.6%	16.6%	20.6%	20.9%	13.7%	17.2%	0.4%

### 【居住地域】

名古屋地域	尾張地域	西三河地域	東三河地域	無回答
457人	704人	313人	163人	7人
27.8%	42.8%	19.1%	9.9%	0.4%

### 【職業】

自営業 161人 9.8%	農林業	8人	0.5%
	商工サービス業	81人	4.9%
	自由業	72人	4.4%
勤め人 861人 52.4%	管理職	123人	7.5%
	専門技術職	255人	15.5%
	事務職	233人	14.2%
	労務職	250人	15.2%
無職 607人 36.9%	家事専業	374人	22.7%
	学生	36人	2.2%
	その他	197人	12.0%
無回答		15人	0.9%

### 3 サンプルデザイン

- (1) 母集団 愛知県内に居住する 20 歳以上の男女
- (2) 標本数 3, 000
- (3) 地点数 150
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

#### ア 層化

愛知県内の市町村を、市（名古屋市は区）及び郡を単位として、16 の調査地区にグループ化した（調査地区区分図のとおり）。さらに、各調査地区を名古屋市、その他の市と郡部（町村）の 3 つに分類し、それぞれを層とした。

#### イ 標本数の配分

各層に、その推定母集団数（平成 23 年 10 月 1 日現在の人口）の大きさにより、3, 000 の標本数を比例配分した。

#### ウ 抽出の方法

- (ア) 第 1 次抽出単位となる調査地点として、平成 17 年国勢調査時に設定された調査区を使用した。
- (イ) 各層における調査地点については、1 次調査地点の標本数が 20 となるように算出し、各層内での調査地点が 1 地点の場合は単純無作為抽出法により抽出、2 地点以上となる場合は、「層における調査地区数の合計」÷「層で抽出された調査地点数」＝「抽出間隔」を算出し、等間隔抽出法により抽出した。
- (ウ) 各調査地点における対象者の抽出は、選挙人名簿により等間隔抽出法で抽出した。